高等学校 令和4年度(2学年用) 教科 家庭 科目 子どもの発達と保育

単位数: 4 単位 教 科: 家庭 科 目: 子どもの発達と保育

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 2 組

使用教科書: (子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う (教育図書)

の目標: 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、 実践的・体験的な学習活動を通して、

様々な人々と協働し よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを終合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭と社会との関わりについて理解を身について生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにす

)

科目 子どもの発達と保育

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴 及び子どもの福祉と文化などについて体系的・ 系統的に理解するとともに、関連する技術を身 につけるようにする。	職業人として合理的かつ創造的に解決する力	子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、 保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養 う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 子どもの保育 ・保育の意義、方法、環境 【知識及意義、方法、環境及び乳幼児理 保育の意義、方法、環境及び乳幼児理 保育を達にともして、 解するとともに、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	・子どもの保育 保育の意義、方法、環境 ・全国高等学校家庭科保育検定の 実施 (3級)	【知識・技能】 子どもの発達を支えることの意義、環境、 方法について理解し、実践として生かすこと ができる。 【思考・判断・表現】 子どもの発達を支えることの意義、環境、 方法について情報を分析し、レポート等にわ かりやすくまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びを実践に生かし、主体的かつ協働的に 取り組んでいる。	0	0	0	24
1	定期考査			0	0		1
期	B 子どもの発達 ・子どもの発達の特性、乳児期の発達、大学ともの発達の特性、乳児期の発達、「知識及発達、「知識及で表した。」 「知識及意義、方体、環境及び乳幼児理技の発達を含さいでは、一個である。」 「思考力の発達を支持でである。」 「思考力の発達を支えるう職業であるとのは、判断力、表現力でのと力を発見したのに、というのとのである。」 「とど発見したの制造的に解決する力を発見したの制造を実践に生かすことが、得た知識を実践に生かすことができる。」 「学びにの値やかな発達をかる協働的に関する。」 「学びに、向から力、、人間性指して自らずいない。」 「学びで、保護を表う。」	発達、幼児期の発達 ・保育施設等への訪問、事前事後 指導、オンライン交流 など	【知識・技能】 子どもの発達を支えることの意義、環境、 方法について理解し、実践として生かすこと ができる。 【思考・判断・表現】 子どもの発達を支えることの意義、環境、 方法について情報を分析し、レポート等にわ かりやすくまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学びを実践に生かし、主体的かつ協働的に 取り組んでいる。	0	0	0	24
	定期考査			0	0		1
	C 子どもの生活と擁護 乳幼児期の生活の特徴と擁護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止 【知識及び技能】 子どもの健全な発達を支えるための方 社会の取り組み、地域社会のの在 社会の取り組み、地域社会の在 、判断力、表現力等】 子どもを知る 【思考力、判断力、環境に職業人としを 発見し、保育を担う職業する力を で発見し、保育を担う職業する力を で理的かかの創造的に解決する力を 一学びに健やかな発達を目指して といる。 「学びに健やないな発達を目指して といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。 といる。	・子どもの生活と擁護 基本的生活習慣と健康管理	【知識及び技能】 子どもの健全な発達を支えるための社会や環境について および 保育の場としての家庭や幼稚園、保育所などの特徴と役割を理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを取り巻く環境について課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力をつけられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度が育成できたか。	0	0	0	28
2 学	定期考査			0	0		1

期	D 子どもの福祉	・子どもの福祉	【知識及び技能】				
	児童福祉の理念と関係法規・制度 【知識及び技能】 子どもの健全な発達を支えるための 社会の取り組み、地域社会の在り方 を知る 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを取り巻く環境について課題 を発見し、保育を担う職業人とし合理的かつ創造的に解決する力を養 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健やかな発達を目指していて保育に主体的かつ協働的に 取り組む態度を養う。	児童福祉の理念と関係法規・制度	子どもの健全な発達を支えるための社会や環境について および 保育の場としての家庭や幼稚園、保育所などの特徴と役割を理解できているか。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを取り巻く環境について課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力をつけられたか。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度が育成できたか。	0	0	0	26
	定期考査			0	0		1
3 学期	どもの興味・関心を引き、かつ文化の継承につながるカレンダーをデザインし、作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学びを統合し、主体的に作品製作に取り組んでいる。	・造形表現技術、言語表現技術を 生かした製作(例:紙芝居、絵 本、カレンダー、紙粘土等)	【知識・技能】 子どもの目の見え方、興味を引く形、色などについて知識を得る。 【思考・判断・表現】 これまでの学びと技術を統合し、子どもの興味・関心を引き、共に楽しめる作品をデザインし、作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学びを統合し、主体的に作品製作に取り組んでいる。	0	0	0	33
	定期考査			0	0		1
							合計 140